

柔軟物コンピューティングの基盤研究



家庭内の柔軟物を介した、
情報環境との自然なインタラクション

研究代表者: 稲見昌彦

研究分担者: 杉浦裕太、上間裕二、神山洋一
(慶應義塾大学)

公共空間

Public Space



私的空間

Private Space



UI石器時代

硬く、冷たい

メンテナンス性 / 耐故障性

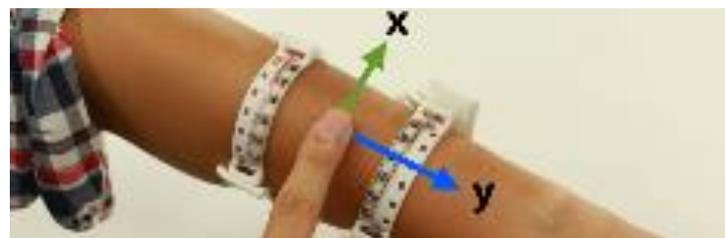
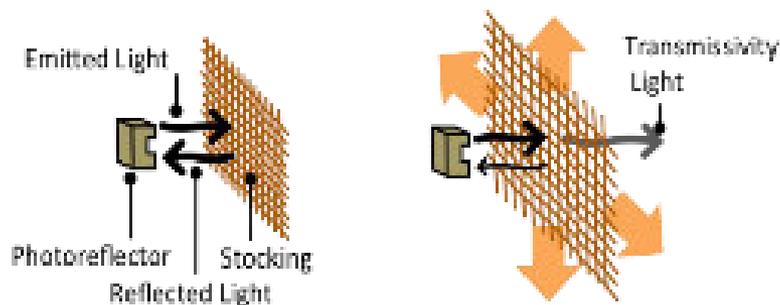


柔らかく、温かい

リラックス / 団らん / 直感的

(1) 柔軟物を計測システムとして利用した、人の行動の計測、及び心的状態の推定

- 綿の密度計測モジュールの開発とそれによる人間の状態推定
- 布の伸縮を計測する手法の確立と応用例の提案
- 皮膚変形の計測手法を確立し入カインタフェースの開発や情動抽出を実現
- 浮遊体と紐による無意識なユーザの情動記録システムの開発



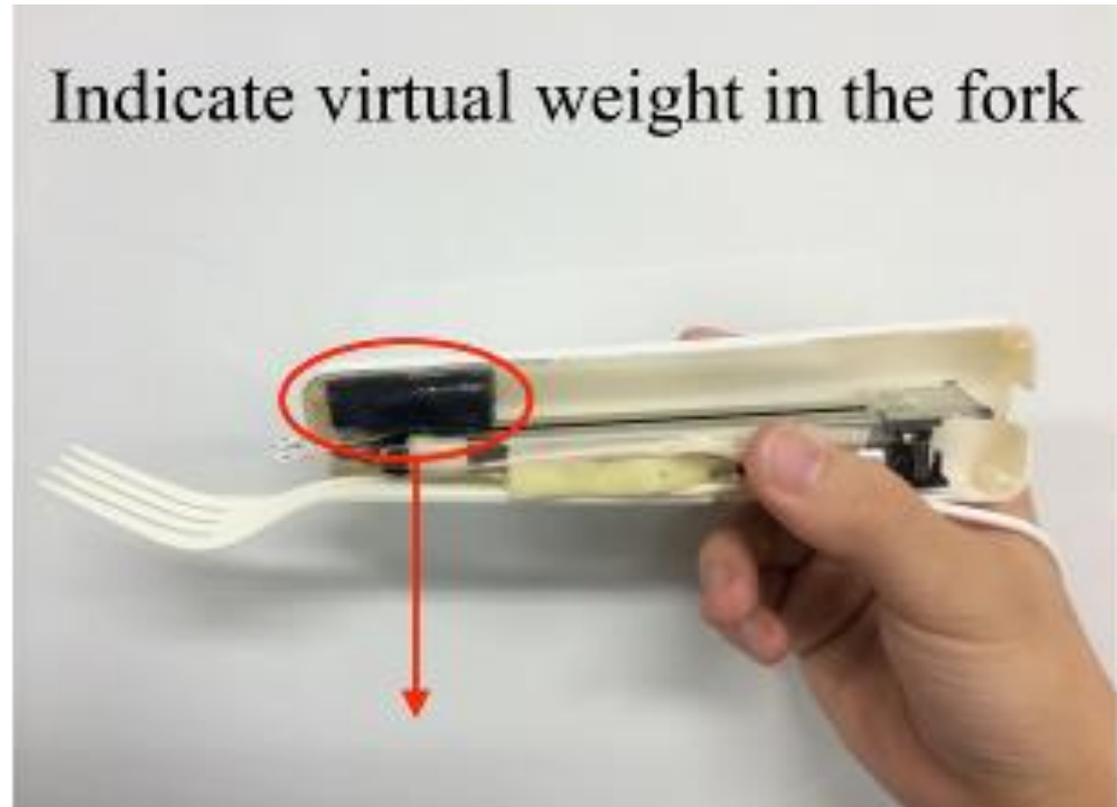
2) 柔軟物の柔軟性を利用した情報提示と、行動や情動の誘発

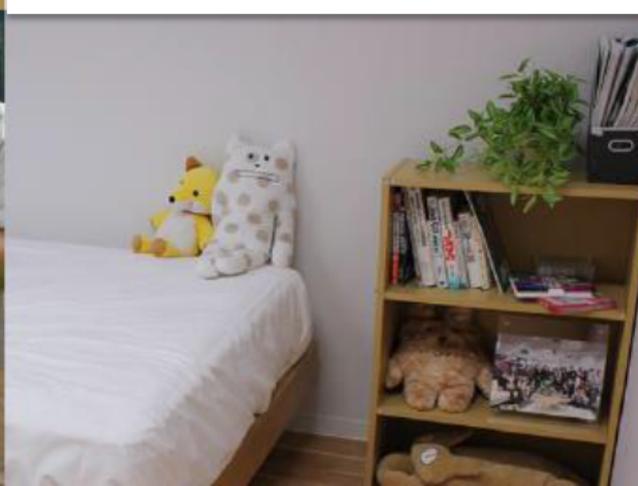
- 絨毯などの被毛布のディスプレイ化の確立
- 布へのカラーイメージ描画手法の提案と実装
- 住環境におけるパブリックな情報とプライベートな情報を瞬時に切り替え可能な柔軟性のあるスクリーンの開発



3) 柔軟物を介した、情動を伴うコミュニケーション

- 前庭感覚刺激（GVS）を利用した入眠誘導システムを構築
- 人間の「認知的な柔らかさ」の制御とその応用
- 通信機能を持つスマートフォンを利用した柔軟物とのコミュニケーション







European
Network of
Living Labs

Membership Certificate

This is to certify that

Tokyo Living Lab

has been admitted to the European Network of Living Labs in the 7th Wave Membership

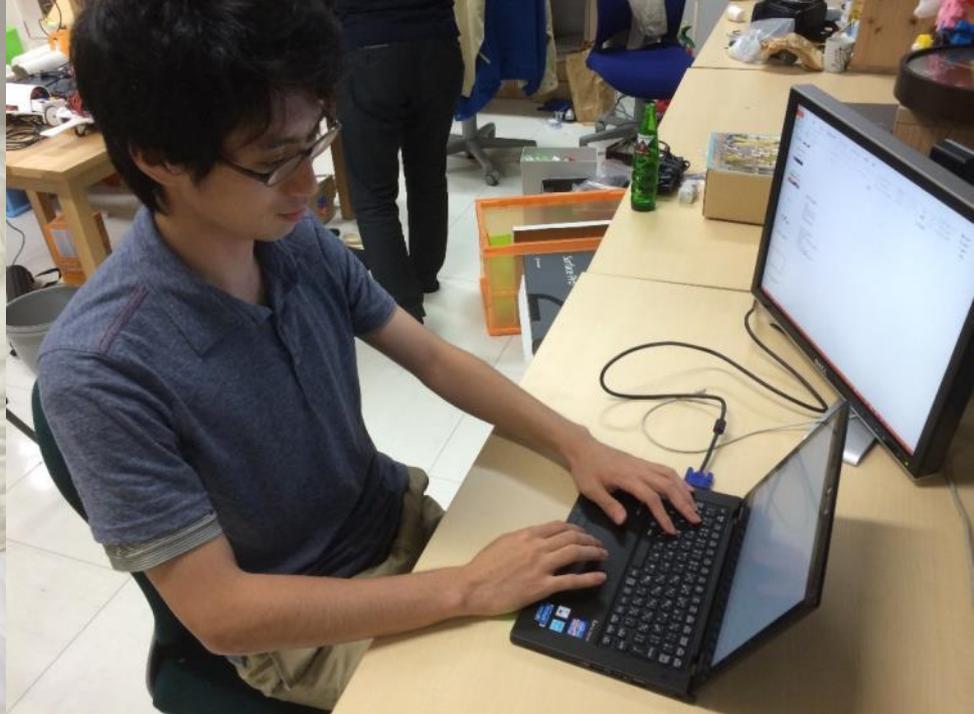
in Manchester, UK on 30th August 2013

European Network of Living Labs asbl, Pleinlaan 9, B 1050 Brussels, Belgium



President of the Association, Chair of the Council





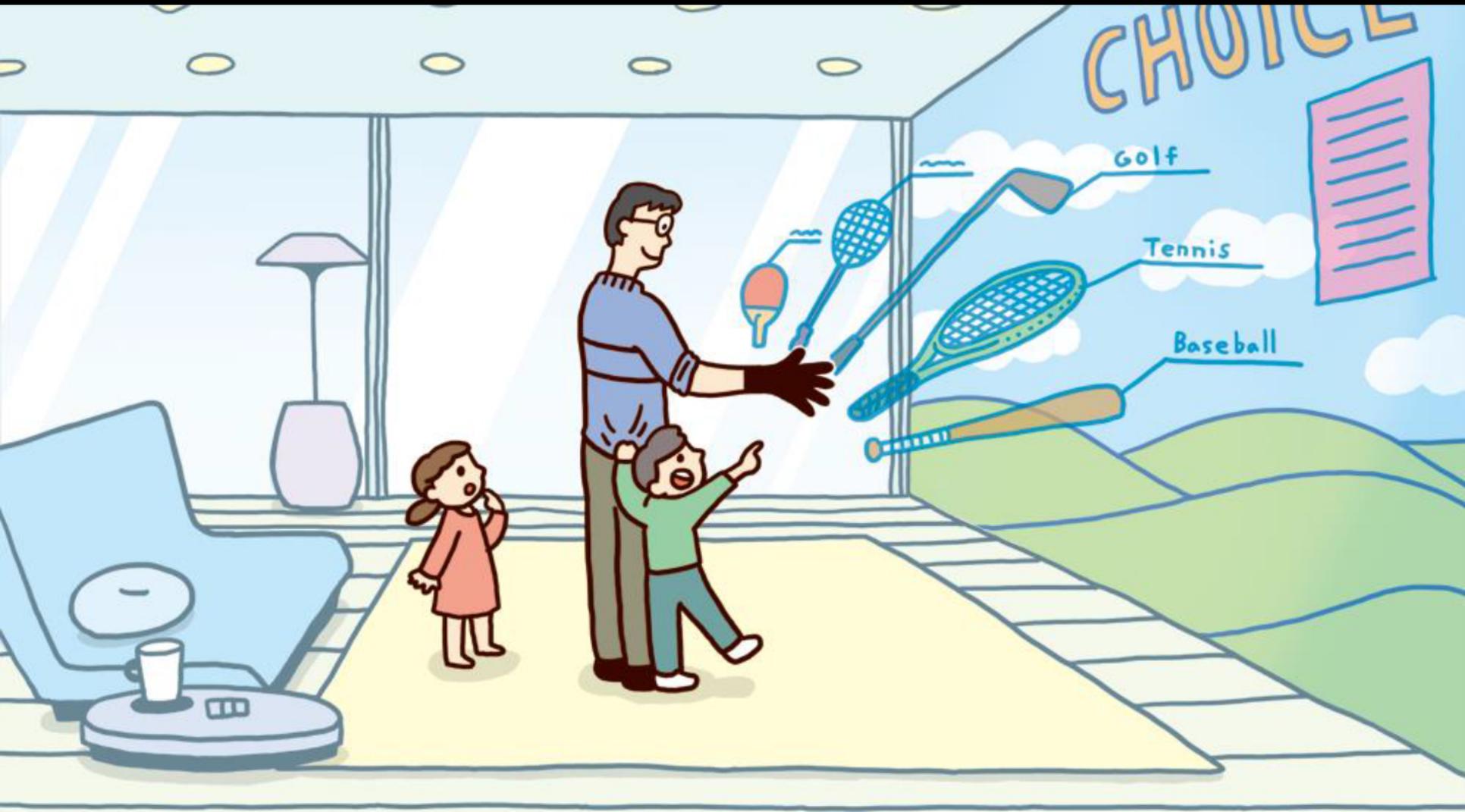




Cyber Living Lab



Cyber Living Lab



Cyber Living Lab

